



## 国際医療リスクマネジメント学会

### 医療安全臨床コミュニケーター実習研修会2021 (クライシス・コミュニケーション/クライシス・ガバナンス編)

#### —医療事故時の患者対応のあり方—

#### 主催者の挨拶

医療事故発生時における院内の対応は、クライシス・アセスメント(事故の評価と原因分析) ⇒ クライシス・マネジメント(再発防止策の策定) ⇒ クライシス・コミュニケーション(危機対話) ⇒ クライシス・ガバナンス(危機対応組織化)といったプロセスが必要です。特に、重大な医療事故時の不適切な対応が患者・家族のみならず当該医療機関内部の医療従事者に対しても強い悲しみ・怒りを引き起こします。

本プログラムの目的は、医療事故時の円滑な危機対応のためのクライシス・コミュニケーションとクライシス・ガバナンスに関する高度な知識と技術を向上させ、医療事故時の際の院内の優れた組織対応を実現することにあります。

本実習研修によって、あなたの医療機関により高度な安全文化を構築し、患者・家族からの納得と信頼が得られるようになります。今回はインターネットによる講演とグループ実習を採用し、全国の皆様の参加に便利ないように企画しています。

医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度ならびに「高度看護安全管理者」資格制度における必須科目でもあります。なお、資格の必要ない方もご参加いただけます。

2020年10月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長)

主催者一同